



学習発表会に向けて

副校長 大沢 一郎

今月の15日(金)と16日(土)に学習発表会を実施します。学習発表会は、日常の学習活動の発表の場として行います。子どもたちが授業で普段に学習していることを、表現したり観賞し合ったりして、伝える力を高め、豊かな情操を養います。また、学年で協力して一つのものを創り上げることを通して責任や協力の大切さも学びます。

学習は「やらなければ…」と考えると辛く思いますが、見方を変えると驚くような面白がる場合もあります。自分が子ども頃は楽しく感じなかった学習であっても、大人になって見方を変えてみると「へえ。」と驚かされることが多いのではないのでしょうか。

一年生で学習する漢字は全部で80文字あります。毎日一つずつ、先生と一緒に練習をして覚えていきます。その中に「右」と「左」があります。保護者の皆様もよくご存じであるように、この二文字は筆順に特徴があります。「右」の払いは一画目であるのに、「左」の払いは二画目です。子どもたちにこの

二文字を比べさせると、「同じ払いなのに、長さが違う!」「筆順が違う!」などと、様々な発見をしてきます。

では、なぜ「払い」の長さが違うのでしょうか。

9月26日(木)の読売新聞にその記事

が載っていました。漢字の成り立ちでは、

二文字とも象形文字で、「右」の払いは「指」を表しているため短く、「左」の払いは「腕」を表しているため長くなっているそうです。また、筆順の違う二文字は、右は一画目になる払いが長くなり、左は一画目になる横線が長くなっています。一画目の終わりと二画目の始めとの距離を短くして、運筆がスムーズになるよう工夫されているそうです。

「左」の書き順の覚え方には、「一→ノ→エ」(一之江)として覚える方法もあるそうです。音と地名を絡めて覚える方法で、とても記憶に残ります。

このように漢字ひとつを見ても、興味をもって学習に取り組むことができる面白が出てきます。進んで学習することで、子どもたちは学習の楽しさに気付き、意欲をもてるようになります。また、自主的に調べたからこそ、他の人にも伝えたくなるものです。

各クラスの授業を見て回ると、本校の児童は純粋で素直に学習に興味をもっています。この素直さと純粋さは学習を面白いと感じる源につながります。学習発表会の場で、子どもたちの学びが十分に表れることを期待しています。お忙しいと思いますが、ぜひ、ご参観いただき、子どもたちの頑張りを見守ってください。

生活目標

進んで働こう

保健目標

正しい姿勢を心がけよう

給食目標

感謝をこめて食事をしよう

